



平成 29 年 2 月 3 日

各 位

会社名 ヤマハ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中田 卓也  
(コード番号 7951 東証第 1 部)  
問合せ先 執行役員 高井 正人  
広報部長  
(TEL 053-460-2210)

## 2017 年 3 月期第 3 四半期 (累計) 連結業績の概要と 通期連結業績予想について

### □ 第 3 四半期累計業績の概要

#### — 対前年同期減収・営業増益 —

2017 年 3 月期第 3 四半期累計の売上高は、販売が堅調に推移したものの、為替影響△320 億円および音楽教室事業移管影響△42 億円により、前年同期に対し 274 億円 (8.2%) 減少の 3,083 億円となりました。

損益については、為替影響△100 億円があったものの、営業利益は前年同期に対し 4 億円 (1.1%) 増加の 374 億円、経常利益は前年並み (△0.0%) の 376 億円となりました。

なお、9 月 2 日に公表したヤマハリポート「つま恋」の営業終了に伴う構造改革費用 49 億円を特別損失として計上したものの、繰延税金資産 121 億円を計上していることから、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期に対し 66 億円 (21.5%) 増加の 371 億円となりました。

#### <事業セグメント別の売上高・営業損益の状況>

##### ・ 楽器事業 売上高 1,965 億円 (前年同期比 8.8%減) 営業利益 273 億円 (前年同期比 2.0%減)

アコースティックピアノの販売が北米、欧州および中国で好調だったほか、ギターは全地域で好調に推移しました。デジタルピアノをはじめとする電子楽器や管楽器も堅調な販売が継続しました。

セグメント全体の売上高は、販売が概ね好調に推移したものの、△213 億円の為替影響および前年第 2 四半期に国内音楽教室の運営を一般財団法人ヤマハ音楽振興会に移管したことに伴う△42 億円の影響があり、前年同期に比べ 191 億円 (8.8%) 減少の 1,965 億円となりました。

営業利益は、為替影響△77 億円の影響があり、5 億円 (2.0%) 減少の 273 億円となりました。

##### ・ 音響機器事業 売上高 850 億円 (前年同期比 7.4%減) 営業利益 85 億円 (前年同期比 9.0%増)

PA 機器は国内および北米で売上げを伸ばしたほか、欧州および中国での販売も好調でした。オーディオ機器は国内および中国で増収となるなど、全体的に堅調に推移しました。ICT (情報通信) 機器は国内で売上げを伸ばしました。

セグメント全体の売上高は、△101 億円の為替影響があり、前年同期に比べ 68 億円 (7.4%) 減少の 850 億円となりました。

営業利益は、為替影響△24 億円を吸収し、7 億円 (9.0%) 増加の 85 億円となりました。

・その他の事業 売上高 268 億円（前年同期比 5.6%減） 営業利益 16 億円（前年同期比 21.3%増）

電子部品、自動車用内装部品の売上げが振るわず、売上高は前年同期に比べ 16 億円（5.6%）減少の 268 億円となりました。

営業利益は、3 億円（21.3%）増加の 16 億円となりました。

□ 2017 年 3 月期 業績予想について

― 売上高・経常利益・当期純利益を上方修正 ―

2017年3月期連結業績予想は、11月7日公表時には、売上高 4,020億円（前期比 7.7%減）、営業利益 420億円（前期比 3.3%増）、経常利益 420億円（前期比 2.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 410億円（前期比 25.6%増）としておりました。

今回の業績予想では、想定為替レートの見直し\*に伴い、売上高4,050億円（前期比 7.0%減）に上方修正し、利益についても、営業利益は据え置くものの、経常利益 430億円（前期比 5.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 420億円（前期比 28.7%増）に、それぞれ上方修正いたします。

\* 本予想における第4四半期の想定為替レートは、前回予想の対USドル100円、対ユーロ110円から、対USドル110円、対ユーロ120円に変更いたしました。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

また、第1四半期よりセグメント区分を見直し、従来の「電子部品事業」を「その他の事業」に含めて開示しております。前年同期比の金額、増減率については、変更後の区分方法により計算いたしました。

以上

## 2017年3月期 第3四半期業績資料

ヤマハ株式会社

2017年2月3日

	前年第3四半期 (‘15/10-12月)	当第3四半期 (‘16/10-12月)	前年第3四半期累計 (‘15/4-12月)	当第3四半期累計 (‘16/4-12月)	前期実績	当期予想	前回当期予想 (16/11/7発表)
	16年3月期	17年3月期	16年3月期	17年3月期	16年3月期	17年3月期	17年3月期
売上高	1,183億円	1,092億円	3,358億円	3,083億円	4,355億円	4,050億円	4,020億円
国内売上高	342億円 (28.9%)	337億円 (30.9%)	1,074億円 (32.0%)	1,013億円 (32.9%)	1,450億円 (33.3%)	1,387億円 (34.2%)	1,396億円 (34.7%)
海外売上高	841億円 (71.1%)	755億円 (69.1%)	2,284億円 (68.0%)	2,070億円 (67.1%)	2,905億円 (66.7%)	2,664億円 (65.8%)	2,624億円 (65.3%)
営業利益	157億円 (13.3%)	127億円 (11.6%)	369億円 (11.0%)	374億円 (12.1%)	407億円 (9.3%)	420億円 (10.4%)	420億円 (10.4%)
経常利益	154億円 (13.0%)	131億円 (12.0%)	376億円 (11.2%)	376億円 (12.2%)	409億円 (9.4%)	430億円 (10.6%)	420億円 (10.4%)
当期利益 <sup>(※1)</sup>	131億円 (11.1%)	98億円 (9.0%)	305億円 (9.1%)	371億円 (12.0%)	326億円 (7.5%)	420億円 (10.4%)	410億円 (10.2%)
為替レート(決済レート) <sup>(※2)</sup>	121円/US\$ 135円/EUR	106円/US\$ 114円/EUR	122円/US\$ 134円/EUR	107円/US\$ 121円/EUR	121円/US\$ 134円/EUR	107円/US\$ <sup>(※3)</sup> 121円/EUR	104円/US\$ 118円/EUR
ROE <sup>(※4)</sup>	15.0%	11.8%	11.5%	15.1%	10.1%	13.0%	13.3%
ROA <sup>(※4)</sup>	9.9%	7.8%	7.6%	9.9%	6.5%	8.6%	8.8%
1株当たり利益	67.6円	52.5円	157.5円	197.6円	168.9円	224.0円	218.7円
設備投資 (減価償却費)	29億円 (32億円)	56億円 (27億円)	77億円 (94億円)	119億円 (81億円)	112億円 (127億円)	165億円 (111億円)	196億円 (113億円)
研究開発費	62億円	62億円	185億円	181億円	248億円	249億円	253億円
<b>(キャッシュフロー)</b>							
営業活動	127億円	109億円	209億円	163億円	424億円	380億円	430億円
投資活動	49億円	▲10億円	▲10億円	▲73億円	6億円	▲150億円	▲200億円
フリーキャッシュフロー	176億円	99億円	199億円	90億円	430億円	230億円	230億円
期末在庫高	-	-	952億円	974億円	919億円	920億円	848億円
<b>(要員数)</b>							
国内	-	-	6,266人	6,082人	6,149人	5,900人	6,100人
海外	-	-	13,993人	14,279人	14,199人	14,400人	14,600人
正社員計 <sup>(※5)</sup> (連結範囲変動による増減)	-	-	20,259人 (▲104人)	20,361人 (-人)	20,348人 (▲102人)	20,300人 (-人)	20,700人 (-人)
正社員外要員(期中平均)	-	-	8,143人	7,650人	7,990人	7,800人	7,700人
<b>(事業別売上高)</b>							
楽器 <sup>(※6)</sup>	732億円 (61.9%)	681億円 (62.3%)	2,156億円 (64.2%)	1,965億円 (63.7%)	2,774億円 (33.7%)	2,560億円 (63.2%)	2,540億円 (63.2%)
音響機器 <sup>(※6)</sup>	365億円 (30.9%)	320億円 (29.3%)	918億円 (27.3%)	850億円 (27.6%)	1,209億円 (27.8%)	1,140億円 (28.2%)	1,130億円 (28.1%)
その他 <sup>(※7)</sup>	86億円 (7.2%)	91億円 (8.4%)	284億円 (8.5%)	268億円 (8.7%)	372億円 (8.5%)	350億円 (8.6%)	350億円 (8.7%)
<b>(事業別営業利益)</b>							
楽器 <sup>(※6)</sup>	111億円	85億円	279億円	273億円	317億円	320億円	325億円
音響機器 <sup>(※6)</sup>	43億円	36億円	78億円	85億円	85億円	95億円	90億円
その他 <sup>(※7)</sup>	3億円	5億円	13億円	16億円	4億円	5億円	5億円

### (単独の状況)

売上高	591億円	527億円	1,821億円	1,714億円	2,328億円
営業利益	60億円 (10.2%)	44億円 (8.3%)	148億円 (8.1%)	151億円 (8.8%)	152億円 (6.5%)
経常利益	63億円 (10.7%)	51億円 (9.7%)	267億円 (14.6%)	236億円 (13.8%)	271億円 (11.7%)
当期利益	11億円 (1.9%)	47億円 (8.9%)	201億円 (11.0%)	281億円 (16.4%)	202億円 (8.7%)

\*1 当期利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

\*2, 8 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。4Q為替レート US\$=110円、EUR=120円

\*3, 4 ROE・ROAは年換算値

\*5 要員数=期末社員在籍数

\*6 2017年3月期より楽器セグメントから音響機器セグメントに防音事業を移管したことに伴い、2016年3月期の実績も組み替えて表示しています。

\*7 2017年3月期より電子部品セグメントを廃止し、その他の事業に合算し表示しています。2016年3月期の実績も合算し表示しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。